



IOSCO/MR/24/2020

マドリード、2020年10月13日

世界投資者週間による新型コロナウイルス感染症流行下での投資者保護及び投資者教育の推進について

証券監督者国際機構 (IOSCO) のメンバー及び関係者は、10月11日に第4回世界投資者週間を閉幕した。世界投資者週間は終了したが、投資者教育及び投資者保護を推進するための参加者の努力は永続的な効果をもたらすだろう。

10月5日から10月11日まで100以上の法域から証券当局者、取引所、国際機関、投資協会やその他IOSCO関係者が本キャンペーンに参加し、金融リテラシー、投資者教育及び投資者保護を支持した。各法域は現地の状況やパンデミックによって生じたその他の課題に応じて、10月または11月に開催することもできる。世界投資者週間2020はこれまで以上に多くの人々が参加をして、特に新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中、投資者教育及び投資者保護の重要性が高まっていることを強調した。

本年の世界投資者週間では、パンデミックによる不安定な市場での投資のリスクに関するキーメッセージを発信している。また、本キャンペーン手数料が収益に与える影響を評価し、投資のリスクについて理解する必要性など、賢い投資の基本についても焦点を当てた。本キャンペーンでは、オンライン投資やデジタル資産に関する昨年のメッセージを再掲している。

アシュリー・オルダー IOSCO 代表理事会議長兼香港証券先物委員会 CEO は「本キャンペーンは、特にこのような困難な時期に、投資者教育及び投資者保護に向けたメンバーの継続的な努力と取組みのおかげで、大成功を収めた。本年は、参加者のレベルが上がり、投資者に焦点を当てた活動の種類が増えたことから、世界投資者週間の影響が大きくなっていると言える。」と述べた。

ポール・アンドリュース IOSCO 事務局長は「新型コロナウイルス感染症のパンデミックがもたらす課題を克服するために、より多くの IOSCO メンバーや関係者がバーチャルツールやオンラインツールを通じて、積極的に参加してくれたことを大変嬉しく思う。金融市場

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS578.pdf>

メディアリリース



が進化し続ける中で、投資者保護の重要性が高まっていることを考えると、本キャンペーンは今後も拡大し続けるべきだ。」と述べた。

IOSCO の個人投資者のための委員会のジョゼ・アレクサンドル・バスコ委員長は「投資者教育及び投資者保護の重要性についての認識を高めるために、多大な努力をしてくださった世界投資者週間の参加者と支援者の皆様に、この場を借りて感謝の意を表したい。キャンペーンの結果を報告することを楽しみにしており、その結果がこの非常に重要な分野での活動に有益なインスピレーションを与えてくれると信じている。」と述べた。

本取組みを支援する参加当局と国際機関についての詳細は、キャンペーンウェブサイト (<http://www.worldinvestorweek.org>) に記載されている。

NOTES TO THE EDITORS については省略。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS578.pdf>